

日本共産党えんど久子県議予定候補ら九州防衛局に申し入れ

日出生台に
日本中に

オスプレイはいらない

防衛省が今年10月～12月に九州の演習場で垂直離着陸輸送機オスプレイを使う日米共同訓練を予定しています。6月14日、えんど久子らは福岡市の九州防衛局へ行き、日出生台演習場での日米共同訓練はやめよ、オスプレイは日出生にも日本にもいらない、と要請しました。

大分県・地元自治体も反対

九州防衛局は「わが国をとりまく国際情勢が厳しさを増すなか、日米同盟の重要性は高まっている。訓練の場所や内容は今後日米間で調整する。日出生台で行うかどうか決まっていない。安全の徹底を要請している」と回答。

「大分県と地元自治体が、これ以上の負担は受け入れられない、共同訓練するな、実弾射撃訓練も縮小・廃止を、と要請している。これは初めてだが、どう受け止めているのか」と大分のメンバー。

危険でアメリカでは飛ばない

「オスプレイ配備の際の日米合意は、ほとんど守られていない。米軍機事故が相次ぎ、大分県民の不信感が増している」「アメリカ本土ではオスプレイは住宅地上空は飛ばないでしょ」と大分のメンバー。防衛局は「4者協からの要請は承っている。ただ日出生台でやることも排除していない」と答えました。

オスプレイの危険性

ヘリと飛行機の機能をあわせ持ち、構造が複雑なだけに墜落など事故が多く、未亡人製造機とも呼ばれる。

- ・ 昨年12月沖縄県名護市安部の海岸に墜落。
- ・ 昨年8月オーストラリア沖で墜落。3人死亡。
- ・ 昨年9月シリアで墜落。2人負傷。
- ・ 今年2月うるま市の海上に部品が落下。など事故多発



えんど久子県議予定候補（右から二人目）や「日出生台での米軍演習に反対する大分県各界連絡会」のメンバーらは、真島省三前衆議院議員（左から二人目）とともに小野寺防衛大臣宛てに要請。

2018. 6. 14. 福岡市内の九州防衛局にて

日本共産党 県政ニュース

別府市石垣西8-2-31
日本共産党北部地区委員会
発行責任者 えんど久子
Tel.0977-22-6576

No. 18
2018. 6. 17.

えんど久子のホームページはっぴーえんど・どっとねっとをぜひご覧ください

えんど久子県議予定候補らまじま省三前衆議院議員らと共に申し入れ

地元の反対の声を米軍に伝えよ

地元の声を米軍に伝えていないのか

「地元の4者協の反対の声を米軍に伝えているのか」という真島前衆議院議員に、防衛局は「それは分からない」と答えられません。真島氏は「重大な発言だ。5月21日に4者協が申

し入れた内容が今だに米軍側に伝えられていないとすれば、地元では大問題になる。本省に確認して回答してもらいたい」と語気を強めました。

オスプレイは問題ないと防衛省

「去年夏にオスプレイが大分空港に緊急着陸した際、『白煙が出るのはよくあること』と米軍が言った。地元の不安を防衛省が米軍に伝えなければ」とえんど久子県議予定候補。

防衛省は「みなさんの厳しい

声は受け止めている。ただ陸上自衛隊もオスプレイを購入を予定しており、防衛省としてオスプレイに問題があるとは認識していない」と回答。「その認識が問題だ」とえんど久子。

中国は脅威ではないとの政府と矛盾

「国際情勢が厳しいというが、朝鮮半島で平和の激動が始まり米国も米韓合同演習の中止まで言及している。どこの国を対象に日米共同訓練をするのか」と真島氏ら。

「中国は西沙諸島、南沙諸島で軍事基地をつくり、脅威だと考えている」と言う防衛局の現

職自衛官。これに「いまの答弁は重大だ。国会答弁で大臣が『中国は脅威ではない』とはつきり答弁している」と山下かい氏。防衛局（現職自衛官）は「私の勘違いだった。訂正する。中国は脅威ではない」と発言を訂正しました。

えんど久子

街頭演説900回

えんど久子さんは、3月に106回、4月に108回、5月に99回街頭演説。昨年5月からの演説は900回を超えました。

「ウソのない国民のための政治を取り戻しましょう」「国保税引き下げも中学生までの通院無料化も県が動けば実現できます」などと訴えています。

「声が聞こえたから追いかけてきた」という方や「いつも共産党に投票している」という方、ベランダからガッツポーズ、などの激励をいただき励まされています。



国言いなりの大分県では県民を守れません。国にモノが言える大分県に。